

お酒の子守唄ライブ

JR鳴子御殿湯駅がリニューアル5周年を迎えるこの9月、東鳴子温泉に新しい地酒「天音(あまね)」が誕生します。220年の歴史を持つ宮城県加美町の田中酒造店が醸造した純米吟醸酒に、鳴子在住の作曲家・大場陽子氏が作曲したオリジナル曲「お酒の子守唄」を、エムズシステム社の波動スピーカーで春から数ヶ月にわたりじっくり聴かせ寝かした極上のお酒です。今回のライブでは、その子守唄のレコーディングを行った鈴木広志グループにより「お酒の子守唄」が全曲披露される他、メンバーの曲も演奏されます。また、今夏に開催の「鳴子温泉“生きる”博覧会」のプログラム「朗読遠足 鳴子に生きる女たち」で朗読された物語の為に作曲された音楽も、このライブで初演されます。国内外で活躍する若手アーティストの本格的な「お酒の子守唄ライブ」を、じっくりお楽しみ下さい。



◎大場陽子 / Oba Yoko

東京藝術大学大学院修士課程修了。第67回日本音楽コンクール第1位併せて安田賞、JFC作曲コンクール佳作など受賞。武生国際音楽祭からロワイヨム・セミナー(仏)に派遣。異種楽器混在への興味から、コンサート「酔々快響(タブラ、マリンバ、タイゴング)」(2004)、「あやなり(Vn、Fl、25絃箏、ガムラン楽器)」(2005)をプロデュース。美術家、ピアニストと共に、インスタレーションを行う(2006)。また、2004年より「音楽のある空間づくり」をテーマに、日常の中にコンサート空間を創る活動を続けている(GOTEN GOTEN アート湯治祭、おがき国際音楽祭 / 旧野首天主堂建立100周年記念事業、Art-Link上野一谷中 etc.)。映画・舞台音楽、オーケストラアレンジなども手がけている。
<http://www.obayoko.com>



◎鈴木広志 / Suzuki Hiroshi

2003年東京芸術大学卒業。サクソフ、フルート、クラリネット等を自在に操り独自の音楽活動を展開する。日本国内の活動のみならずイギリス、ロシア、インドネシア、ニューカレドニアの音楽祭等に出演。舞台や映画、展覧会、国際音楽祭などに企画、演奏、楽曲提供を行い、好評を得ている。チャンチキトルネエドのリーダー。田中庸介(Gt)とのDuo「glass」、東京中低域、清水靖晃 & サキソフォネッツ、サキソフォン四重奏団ストライク、福島久雄(Gt)グループなどでも活動する。公式ホームページは
<http://suzuki-hiroshi.com/>



◎大口俊輔 / Okuchi Shunshuke

ピアニスト、音楽家。東京芸術大学卒業。自ら作曲した楽曲をピアノとアコーディオンで演奏する。絵や景色を描くような音楽を創造し、舞台、ファッションショー、絵画といった音楽以外の媒体へファンタジーを湧りこませることを嗜好する。バンド、チャンチキトルネエドではピアノ、アコーディオンを担当。近年のチャンチキトルネエド海外公演(インドネシア)では、公演全体のアレンジ、プロデュースを手がけ、その演出、パフォーマンスが現地の新聞・テレビで取り上げられ話題となった。その他、ファッションブランド、「タオ・コムデギャルソン」のパリ・コレクションへの楽曲提供や、舞台音楽の作曲、蜷川幸雄演出の舞台への出演等がある。



◎小林武文 / Kobayashi Takefumi

ドラムセットをはじめ、あらゆるパーカッションを演奏。1993年より邦楽雑誌「音」に山崎清彦氏に師事。1996年ごろより2000年ごろまで国立劇場、歌舞伎座等で、邦楽・下座音楽を実践的に学ぶ。現在はCM、TV、CDなどのレコーディング、舞台やライブサポートの他、バンドメンバーとして「sardine head」、「チャンチキトルネエド」、韓国太鼓奏者チェ・ジェ Chol などの「木蓮」、歌手・小川美潮の「スプラウトウラプス」等々、数多くの現場で、洋モノ、和モノの実践的な経験を活かした幅広い活動を展開している。



◎東保 光 / Toho Hikaru

20歳からコントラバスをはじめめる。1997年、奨学金を得てパーカー音楽大学へ留学。ボストンでライブ、レコーディング等の活動をする。2001年に帰国後は、様々なセッションでサポートを務める一方、即興演奏や自作曲の演奏をする活動を行っている。

東鳴子の新地酒「天音」お披露目会 + 鳴子のお酒大集合!

このたび、東鳴子温泉の地酒「天音」のお披露目とともに、ここ数年、五湯からなる鳴子温泉郷の中で地域ごとの特長を出して造られている「地酒」や「どぶろく」を一堂に集めた試飲会を開きます。こうした鳴子の地域酒が一堂に会するのは初めてのことで、新しい鳴子温泉郷の魅力の発見にもつながるでしょう。鳴子の美酒に舌鼓をうった後は、少し酔いをさまし鳴子温泉郷の伝統ある温泉にゆったり浸かり、心と体を解きほぐしてください。

◎東鳴子温泉

「天音」

220年続く加美町の老舗の酒蔵・田中酒造で、鳴子在住の作曲家・大場陽子によるオリジナル曲「お酒の子守唄」を波動スピーカーで数ヶ月間じっくり聴かせて音響熟成させた音楽酒。この度、初披露となります!

◎鳴子温泉

「おかみの梅酒」

宮城県岩出山佐藤農場産の梅と、三本木の地酒で仕込んだ香り高い梅酒。新澤醸造店の指導の下、鳴子温泉の女将達が集まり、自ら仕込んだもので、まるやかな口当たりと爽やかな酸味が好評。

◎川渡温泉

「雪渡り」

平成11年に「純米の会」を立ち上げ、醸造。会員のみに頒布している幻のお酒。鳴子産「葎の華」と花淵山の伏流水で仕込んだ各限定の完全生酒。(試飲会ではく生貯蔵酒>「雪渡り友酔」をお楽しみいただけます)

「自家製どぶろく/旅館ゆさ」
鳴子の澄んだ水と米麹、減農薬栽培の自家米ひとめぼれで仕込んだどぶろく。生きた酵母のフレッシュな味わい! 第4回全国どぶろく研究会優秀賞受賞。

「どぶろく」

「農家レストラン土風里」
自家田んぼのひとめぼれと地元のまつばら源泉水で仕込んだ、爽やかな飲み心地が特長のどぶろく。

◎鬼首温泉

「鳴子の風」

上質の水と、地元の大麦を発酵させた麦芽をふんだんに使った、吹上高原の新鮮な空気の中で生まれた個性あふれる風味の地酒泡酒。インターナショナル・ビアコンペティション金賞受賞。

「ゆきむすび」

「鬼首ロッジ」
地元鬼首産の米ゆきむすびを使用した、香り高くちよびり甘酸っぱいどぶろく。第3回全国どぶろく研究大会・優秀賞受賞。販売免許も取得。

◎中山平温泉

「湯の里中山平」

地元・中山平の米と温泉水「玉鳥号」を使って作られた純米吟醸酒は、寒梅酒造が蔵元となり、中山平の皆で作りました。現在ほぼ完売。今年の新酒は12月中旬頃に発売予定で、現在、予約注文受付中。

■宿泊のご案内など

鳴子温泉郷観光協会
TEL:0229-82-2102 (8:30~18:00)
FAX:0229-83-2094

■交通のご案内

◎電車をご利用の場合

【山台方面から】
東北新幹線—「古川駅」乗換—陸羽東線—「鳴子御殿湯駅」下車
【山形秋田方面から】
奥羽本線—「新庄駅」乗換—陸羽東線—「鳴子御殿湯駅」下車
【盛岡方面から】
東北新幹線—「古川駅」乗換—陸羽東線—「鳴子御殿湯駅」下車
【東京方面から】
東北新幹線—「古川駅」乗換—陸羽東線—「鳴子御殿湯駅」下車

◎お車をご利用の場合

【山台方面から】
東北自動車道(48 km)—古川—R47(26 km)—東鳴子
【山形方面から】
R3(65 km)—舟形—R47(45 km)—東鳴子
【秋田方面から】
R13(107 km)—雄勝—11秋サライン(58 km)—東鳴子
【東京方面から】
東北自動車道(336 km)—古川—R47(26 km)—東鳴子

◎高速バスをご利用の場合

【山台方面から】
1山台ホテル前22番のりば宮城交通
8:10発 10:00発 15:00発 17:00発
【東京方面から】
東京八重洲口JRバス北三ノ木ササニキ号
東京23:40発→古川6:26着

■会場マップ

